

～ All for one, One for all. ～

# 光 の 家

THE LIGHT HOUSE FOR THE BLIND

視覚障害者総合福祉施設

東京光の家会報

— 202 号 —

2019 年 8 月 1 日発行

いつも喜んでいなさい。絶えず祈りなさい。すべての事について、感謝しなさい。これが、キリスト・イエスにあって、神があなたがたに求めておられることである。

テサロニケ人への第一の手紙

第五章 一六～一八節

あなたがたは、主にあっていつも喜びなさい。繰り返し言うが、喜びなさい。

ピリピ人への手紙

第四章 四節



本物って大きいんだね！（栄光園 青森二泊旅行）

## 巻 頭 言

八月に入り、日差しもひときわ強く照りつけるようになっています。

今回の光の家会報二〇二号では各施設の東京光の家創立百周年記念旅行特集を掲載させて頂きました。利用者にとつてこの旅行は最大の楽しみのひとつになっています。

視覚障害者の「見えない世界」での旅行の楽しみ方があります。それは新幹線を始めたとした乗り物や旅行先での美味しい食べ物、また音や匂い、触覚等で感じられる体験が大人気でした。

特に本物の青森のねぶたを直に触ったり太鼓を鳴らしたりそして京都では匂い袋や八橋作りを大いに楽しみました。

聖書のテサロニケ人への第一の手紙に「いつも喜んでいなさい」という聖句があるように今回の旅行を通して利用者が喜び楽しむことが出来たことに感謝申し上げます。

（理事長 石渡 健太郎）

# 光の家百周年記念誌に期待

東京光の家評議員

加藤 保武



れに耐えられるよう逃れる道も備えてくださった結果でもあることを改めて思います。

その様々な出来事を記録に留めるべく百周年の記念誌制作が今回、企画されたことは時機にかなったものであったと思います。この記念誌の編集委員

光の家百年がこの御代替わりの年に重なった幸運を嬉しく思います。しかし一方で光の家の百年の歩みは幸運とばかりとは言えず、むしろ苦難の連続であったようにも思います。この間には関東大震災と、太平洋戦争を挟み、東日本大震災を経験し、他の多くの自然災害があり、経営難が襲い、様々な試練があつたことを思わずにはいられません。しかし、これらも聖書の言葉の通り、試練と同時にそ

成元年の七〇周年記念誌と平成二年の九〇周年記念誌にも加わることができ、さらに今回の百周年誌にも加われる巡り合わせに心から感謝しています。

今回の百周年誌の編集は過去の百年を振り返り、時代区分ごとにその主なる出来事や事業の動きなどを記述していきま

すが、一方で光の家で生活する利用者の活躍する姿も寄稿してもらうなど、様々な形で記録に留めることになっていきます。百年という華々しさだけが独り歩きをしてしまわないよう、光の家に長く生活する名もない利用者として、黙々と働いてきた職員の仕事も誌面から少しでも伝わってきたら記念誌の役割の一端が果たせることになると思います。編集委員の皆さんと作業を続けているところですが、また百年を振り返ることは次の時代を展望することにも繋がり、その姿をどの程度、誌面に表現することが出来るかも編集に携わる私たちの課題です。

私自身は現役時代に経験した光の家の現在は忘れられていく歴史の中の一コマについて書く役割を受け持ち、現在は資料を集め、約半分を書き終えたところまではたどり着きました。少々、荷が重いのですが取り組んでいます。

私自身は現役時代に経験した光の家の現在は忘れられていく歴史の中の一コマについて書く役割を受け持ち、現在は資料を集め、約半分を書き終えたところまではたどり着きました。少々、荷が重いのですが取り組んでいます。

私は七〇年誌、九〇年誌にも係り、毎回、痛感させられてきたことがあります。光の家は創立以来といふべきか、生活施設という形態の結果なのか、歴史的な資料や文献、写真、ゆかりの品々などを残すことがあまりうまく出来てこなかった面があるように感じてきました。光の家は常に目の前の課題に向かって懸命に突き進んできた結果でもあるようにも思いますが、貴重な品々が散逸してしまつては残念でなりません。私自身も過去の記念誌制作時に編集委員の皆さんとこれらの課題を共有してきましたが、今回を機にぜひ光の家の資料、文献、写真などを共有の財産として守っていかれたらと念願してやみません。

記念誌はまだまだ終わりの見える段階ではありませんが若い編集委員の皆さんと完成の日を目指して取り組んでいくつもりです。

2019 東京光の家創立百周年  
**旭が丘ふれあい夏祭り**

七月二〇日(土)  
 会場：旭が丘東公園



今年も旭が丘ふれあい夏祭りが盛大に開催されました。

光バンドと一緒に歌えるステージ企画やゲームコーナーではエアーゲージを使用しスピードガンで投球速度を計測するゲームを行い、又、模擬店では紅白メロンゲを販売するなど。百周年記念とした企画が盛りだくさんで

大盛況でした。

毎年恒例の豊田囃子、佼成太鼓、盆踊りについても充実した内容であつという間の時間でした。最後は創立百周年記念花火大会を行い、手持ち花火、打ち上げ花火など地域の子供や利用者も楽しむことができた内容でした。



ドン！ドーン！！ 佼成太鼓が鳴り響きました！



月が～出た出～た～ヨイヨイ♪



チーズケーキはいかがですか？(イオンモール多摩平の森)



カナンで仲良く働いています！



いらっしゃいませ！（高校での弁当販売）

光の家就労ホームでは、お弁当やスイーツなどを外部販売しています。

外部販売場所は、イオンモール多摩平の森、都立日野高校、都立松ヶ谷高校、旭が丘中央公園地区センターに加え、昨年度より富士電機株式会社でも弁当販売を開始しました。

光の家就労ホームの外部販売活動



新生園

東京光の家創立百周年記念  
体験で感じる京都二泊旅行

期間：六月一日（火）～二三日（木）  
行き先：京都府

今回の新生園の二泊旅行は光の家百周年、新生園開設四〇周年のダブル記念旅行となり、新生園が開設当初に観光した京都に行きました。

旅行初日は品川駅から東海道新幹線に乗り込み、一路、京都駅へと向かいました。雨天も心配されましたが、雨の合間を縫って、無事に琵琶湖のほとりに建つ素晴らしいホテルに到着しました。

二日目は、午前中に京都市内にある祇園コーナーという施設で、日本の伝統芸能である雅楽や狂言、文楽や舞妓による京舞の四種をダイジェストで鑑賞しました。その後は二班に分かれて、一班目は京都太秦映画村にて時代劇の世界を体験し、もう一つの班は松栄堂薫習館にて匂い袋を作って香文化を楽しみました。

最終日は、京都名物、生八つ

橋作りの体験をしました。柔らかい八つ橋に餡を包む工程に皆さん、苦戦しながらも、最後には抹茶と共に美味しくいただきました。今年度は京都でしか味わうことのできない体験が堪能でき、貴重な体験ができました。



祇園で舞妓さんと一緒に！（祇園コーナーにて）

栄光園

東京光の家創立百周年記念  
美味し麗しの青森二泊旅行

期間：六月〇日（木）～二日（土）、六月七日（木）～二日（土）  
行き先：青森

今年度は光の家百周年記念旅行ということで、以前から利用者の強い要望のあった青森へ二班に分かれて行きました。今回の記念旅行には石渡理事長にも二班目に参加していただきました。

初日は東京駅から新幹線で青森に向かい、ねぶた囃子の太鼓や、はねと体験をして楽しみました。

夕食のレクリエーションでは、百周年記念の節目に毎回参加していただいているボランティアアさんに感謝の気持ちを込めて、表彰させていただきました。

二日目は、青函トンネル記念館でケーブルカーに乗り大迫力の坑道体験、また竜飛岬をバックに「津軽海峡冬景色」を皆で大熱唱しました。

最終日は、三内丸山遺跡に行き、縄文時代の服を着る体験や大きな遺跡の柱に触って、当

時の建築技術のすごさを体験してきました。最後に、新青森駅内で好きな駅弁を選び、新幹線内で美味しくいただきました。利用者の皆さんも普段できない様々な体験や、青森名物のりんごジュースやりんごパイを心ゆくまで堪能しました。体験あり、美味しい物ありと心に残る記念旅行となりました。



竪穴式住居の前で、縄文人気分！（三内丸山遺跡）

### 神愛園

東京光の家創立百周年記念

## 山中湖・蓼科一泊旅行（エクシブ泊）

期間…六月六～七日（木 金 六月二～三日）（火 水）  
行き先…山中湖、蓼科

今年度の神愛園一泊旅行は山中湖、蓼科共に参加園生が五名という少人数での旅行となりました。

山中湖組は初日は世界文化遺産でもある忍野八海と山中湖のカババスに乗ってきました。

忍野八海は外国人の多さにびっくりしながらも、美味しい蕎麦や名物のアイスを堪能しました。カババスは水陸両用のバス

で陸から湖に進水する際は車体が大きく揺れてとてもスリリングな体験ができました。二日目はあいにくの雨となってしまいました。富士サファリパークで動物と直接触れ合うことができました。

蓼科組は諏訪湖の遊覧船に乗ったり、アルパカ牧場で可愛い沢山のアルパカに出会うことができました。アルパカ牧場は

急遽予定を変更して行きましたが、少人数で身軽に動けたことが良かったと思います。

山中湖組も蓼科組も初めてエクシブに宿泊しましたが、豪華な食事に舌鼓を打ち、ラウンジでのコーヒータイトムなど、普段ではなかなか経験できない貴重な体験ができ、利用者・職員共に大満足の記念旅行となりました。



リゾート気分に大満足！（エクシブ山中湖）

### 就労ホーム

## 宮崎駿の世界を見ってきました（一日外出）

期間…六月二〇日（木）  
行き先…三鷹の森ジブリ美術館

雨の只中の六月、就労ホームの一日外出行事で、三鷹の森ジブリ美術館に行ってきました。以前から希望の多かったジブリ美術館。皆さん行き先が分かった日から、とても楽しみにしていました。

朝就労ホームに集合すると、まずは三つの部屋に分かれてジブリ映画を上映。トトロ、魔法の宅急便、ラピュタからそれぞれ好きな映画を選び、美術館の予習をしました。

そして待ちに待った美術館へ！ジブリのキャラクターがちりばめられた館内で、アニメーションが作られるまでを楽しく学べる部屋や、ラピュタに出てくるロボット兵が見守る屋上など、各班で思い思いに楽しみました。



青空の下、ラピュタのロボット兵と一緒に！

お土産コーナーはとても混雑していましたが、混雑も何のその！皆さん沢山のお土産をゲットし、ほくほくと満足気な表情でした。最後にジブリ美術館でしか観ることのできない映画『パン種とタマゴ姫』を見て、無事帰園しました。

梅雨ではありましたが天気に恵まれ、皆大好きなジブリキャラクターに囲まれた、楽しい一日になりました。

# 令和元年度 人事院介護等実地体験研修

研修期間：五月二七日（月）～三二日（金）



東京光の家では今年度も、人事院が実施する「介護等実地体験研修」の受け入れを行いました。

今回は総務省、法務省、環境省、防衛省から二名ずつ、計四名が研修に参加し、視覚障害の方々との接し方を学んだ後、新学園の各訓練や、栄光園や就労ホームの就労現場など、光の家のさまざまな現場業務に参加していただきました。また、

こういった日常生活だけでなく、栄光園の外出行事のハイキングにも参加し、日常とは違った場面での利用者支援も体験していただきました。

短期間で、さまざまな支援の現場を体験研修していただきました。今後ご自身の職場に戻られて、業務にお役立ていただける体験となったことをお祈りしております。



利用者の手先に注目！



研修後は意見交換も行いました

# 「東京アーティスツ合奏団」 相澤理事 クラシックコンサート

令和元年六月一五日（土）  
東京光の家講堂

東京光の家の相澤忠二理事のご紹介で、「東京アーティスツ合奏団」の演奏会が行われました。

演奏会は二部構成でした。第一部は、クラシック音楽を中心に、美女と野獣など、多くの方に馴染みのある楽曲の演奏を八曲行っていたきました。

第二部では、歌のお姉さんと

合奏と題して、歌謡曲やアニメ音楽などの演奏でした。東京光の家の曲「心の光で」も、この日のために演奏していただきました。合奏団の方からの声かけで、利用者が楽器を触らせていただいたり、会場全体で一緒に歌うことができました。

全員参加型の楽しいひとときを過ごすことができました。



本格的なクラシック演奏を聴くことができました！



素晴らしい歌声にうっとり

第 20 回 東京都障害者スポーツ大会 メダル数

	参加者数	金	銀	銅	計
光の家神愛園	6	1	1	3	5
光の家栄光園	24	14	11	6	31
光の家新生園	45	14	11	17	42
光の家就労ホーム	21	5	4	3	12
合計	96	34	27	29	90

今年度も東京光の家から多くの利用者が「東京都障害者スポーツ大会」に出場しました。当日は天候にも恵まれ、参加者は日頃の練習成果を発揮しようと、各部門で必死に取り組む姿がありました。

メダルの色は様々ですが、胸に輝く勲章を下げて、皆さん、満足した表情で元気に帰りました。

第二〇回  
東京都障害者  
スポーツ大会

サウンドテーブルテニス  
陸上競技の部（知的障害）  
陸上競技の部（身体障害）

五月一九日（日）  
五月二六日（日）  
六月一日（土）

1 2 3



かいっぱい遠くまで飛ばせ！



ジャンプ！！



ゴール目指して力走！



金メダル取ったよ！

※紙面の写真は、すべての本人の許可を得て掲載させて頂きました。



光の家就労ホーム  
キッチン&カフェ カナンのテラスにて

全国社会福祉協議会が毎年実施しているアジア社会福祉従事者研修の方々が光の家を見学されました。

韓国、台湾、フィリピン、タイ、マレーシア、インドネシアの各国から六名の方々と、全社協国際部の職員の方二名が、各施設の活動の様子や、光バンドの演奏、そして見学後は、キッチン&カフェカナンにて、食事を楽しまれました。

全国社会福祉協議会国際部  
アジア研修生の見学

令和元年六月一九日（水）

東京光の家創立百周年記念光バンドチャリティーコンサート  
愛のサウンドフェスティバル

東京光の家創立100周年記念チャリティーコンサート  
愛のサウンドフェスティバル

*Spirit*  
[スピリット]

1912年 盲目の人 秋元梅吉20歳の時に 聖書と出逢う  
盲人である前に人としてあるべき 信仰こそ人格を高める唯一の道と考えた  
故に「盲人に聖書の福音を」と祈る  
そして1919年 東京光の家が生まれ、今100年の歴史を刻む



2019.9.14(土) 15:00開演  
会場 14:00 到着 17:00

■ 会場：ひの煉瓦ホール[日野市民会館]  
■ 料金：2,000円  
■ 出演：光バンド/光の家聖歌隊/エバーグリーン・クワイアー

主催：社会福祉法人 東京光の家 共催：光の家のサウンド後援会

【司会】  
高田 敏江(女優)

社会福祉法人 東京光の家 〒191-0065 東京都日野市旭が丘1-17-17 TEL:042-581-2340  
http://www.hikarinoie.org/ E-mail:info@hikarinoie.org

◎このコンサートの売上金の一部を福祉団体に寄付致します。

- 日時：二〇一九年九月十四日(土)  
開場一四時〇〇分・開演一五時〇〇分
- 会場：ひの煉瓦ホール(日野市民会館)  
東京都日野市神明二―二―一
- 交通：JR中央線日野駅より徒歩一五分  
バス：JR中央線日野駅から「高幡不動駅」行き、  
または京王線高幡不動駅から「日野駅」行きに乗り、  
「日野市役所」バス停下車
- 福祉協力券：一枚二、〇〇〇円
- 司会：高田 敏江(女優)
- お問い合わせ先：社会福祉法人 東京光の家  
電話 〇四二(五八二)三三四〇

第42回 東京光の家  
チャリティー  
バザーに  
物品提供を

東京光の家のチャリティーバザーに多くの皆様のご協力をお願いいたします。

★ 期日：(〇)月二(四)日(月)  
体育の日一〇時より

★ 会場：旭が丘東公園  
(東京光の家前)

★ 提供品についての希望  
日用品・おもちゃ・文具・雑貨品・食器・食品・衣料品新品同様のもの・古本・CD・DVD等

★ お断りしてほしいもの  
家具・中古の電気製品・布団・雛人形・五月人形・ゴルフセット・スキー等

★ 提供品受付期間  
九月末頃まで

※ご連絡頂ければ回収にお伺い致します(多摩地区のみ)。

※尚、当日にお手伝いをさせていただけるボランティアの方達を募集しています。



寄付者名簿

平成三年四月一日  
令和元年七月一六日

古川裕子様 天然塩蔵もずく 一九kg	船橋敬様 スイカ 四玉	中西昌子様 朗読テープ 三六本	仲間君代様 スパム缶詰 二四缶	土屋正和様 佐藤錦 四kg	綾木潔様 かぼちゃ 一kg	スイカ スイカ 四玉	スイカ 一〇玉
--------------------------	-------------------	-----------------------	-----------------------	---------------------	---------------------	------------------	------------

発行 行 〒一九一〇〇六五  
東京 東京都日野市旭が丘一七―一七  
社会福祉法人 東京光の家  
電話 〇四二(五八二)三三四〇  
FAX 〇四二(五八二)九五六八

